

「天正遣欧少年使節団伊東マンショ像」と
これまでの制作を振り返る



TOKUYASU KAZUHIRO
徳安和博 彫刻展

会期 2024年12/6(金)~2025年1/13(月、祝)
開館時間 午前10時~午後6時
休館日 月曜日 2024年12/28(土)~1/4(土)
オープニングレセプション 12/7(土)16:00~18:00
ギャラリートーク 12/14(土)14:00~15:00

 南島原市アートビレッジ・シラキノ 開館時間：10:00~18:00 月曜休館
〒859-2413 長崎県南島原市南有馬町丙1795番地 TEL: 0957-85-3055
MAIL: shakaikyoiiku@city.minamishimabara.lg.jp

【主催】南島原市、南島原市教育委員会 【共催】南島原市アートビレッジ・シラキノ 【後援】南島原市文化協会



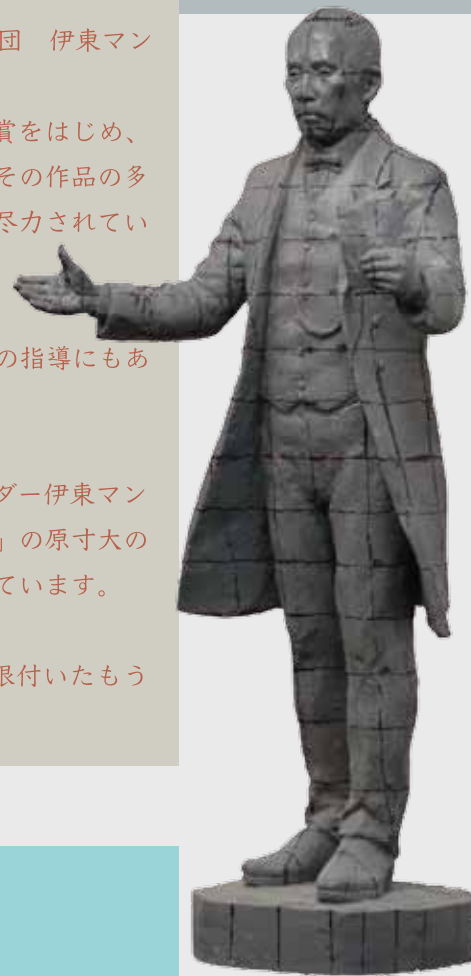
この度、南島原市アートビレッジ・シラキノでは「徳安和博 彫刻展『天正遣欧少年使節団 伊東マンショ像』と、これまでの制作を振り返る」を開催いたします。

徳安氏は、南島原市南有馬町築山出身の彫刻家です。これまで日展の彫刻部門での受賞をはじめ、佐賀県ゆかりの偉人の肖像彫刻を数多く制作されるなど幅広く活躍されてきました。またその作品の多くは佐賀市内の名所旧跡などの公共スペースに設置され彫刻のあるまちづくりの発展にも尽力されています。

2008年からは佐賀大学に籍を置かれ、現在は芸術地域デザイン学部の教授として後進の指導にもあたられています。

今回は400年前に南島原市からヨーロッパに向けて旅立った天正遣欧少年使節団のリーダー伊東マンショの肖像彫刻をはじめ、佐賀城公園に設置されている「佐賀藩十代藩主鍋島直正公銅像」の原寸大の樹脂胸像や日展特選受賞作品など徳安先生のこれまでの創作活動を俯瞰できる展示となっています。

南島原の地で育まれ幅広い活動を展開する徳安先生の彫刻作品を通し、この地に深く根付いたもう一つの文化の血脈に触れていただければ幸いです。



徳安 和博（とくやす かずひろ）

1967年 南島原市南有馬町築山生まれ

（職歴）

1992年4月～2008年3月 長崎県にて中学・高等学校教諭

2008年4月～2009年3月 佐賀大学文化教育学部 講師

2016年4月～現在 佐賀大学芸術地域デザイン学部 教授
佐賀大学美術館副館長

（受賞歴等）

全国公募展

1990年 第22回日展（彫刻部門）初入選（東京都美術館、国立新美術館）
（以後 2024年まで31回出展）

1991年 第21回日本彫刻会展 初入選（東京都美術館）
（以後 2024年まで33回出展 第22回と23回に奨励賞受賞）

1992年 第37回長崎県展 西望平和賞、県知事賞

2009年 第41回日展（彫刻部門）特選（1度目）

2011年 第43回日展（彫刻部門）特選（2度目）

2018年 改組新第5回日展 新審査員

2024年 第11回日展 審査員

2019年～現在 日展会員、日本彫刻会会員

国際公募展

2016年 第1回ゆくはし国際公募彫刻展 入賞（5席）

2022年 第4回ゆくはし国際公募彫刻展 入賞（2席市民賞）

佐賀市に建立した銅像、モニュメント

2017年 佐賀藩十代藩主 鍋島直正公の銅像（像高4m20cm）（佐賀城内公園）

2018年 佐賀県主催「肥前さが幕末維新博覧会」の偉人像として弘道館時代の鍋島直正、鍋島茂義、古賀穀堂、大隈重信、副島種臣、佐野常民、島義勇、枝吉神陽、江藤新平、大木喬任、ほか黒田チカ（11人すべて等身大）

2018年 北海道開拓判官 島義勇の像制作（像高2m50cm）（佐賀城内公園）

2022年 バルセロナオリンピック金メダリスト古賀稔彦像（像高1m90cm）
（SAGA サンライズパーク柔道場前）

2023年 佐野常民像（像高2m50cm）（佐賀県赤十字血液センター前）



南島原市アートビレッジ・シラキノ 開館時間：10:00～18:00 月曜休館
〒859-2413 長崎県南島原市南有馬町丙1795番地 TEL：0957-85-3055
MAIL: shakaikyoiiku@city.minamishimabara.lg.jp

【主催】南島原市、南島原市教育委員会 【共催】南島原市アートビレッジ・シラキノ 【後援】南島原市文化協会

